



守屋壽コレクション初公開記念

洛中洛外図屏風と 古地図でたどる日本の歴史

会期 令和7年4月25日(金) ▶ 6月15日(日)



洛中洛外図屏風(左隻、本田家旧蔵本)

「洛中洛外図屏風」(本田家旧蔵本)を中国地方で初公開!

令和6年10月、守屋壽コレクションに新たに389点の資料が寄贈され、総数は1,739点となりました。これを記念して今回の展示会では、「洛中洛外図屏風」(本田家旧蔵本)をはじめとする貴重な初公開資料をコレクションの関連資料とともに紹介します。

この「洛中洛外図屏風」は江戸時代前期(寛永年間)に、林原美術館本(重要文化財、岡山藩主池田家旧蔵)と同一工房で制作されたと考えられている洛中洛外図屏風の優品です。

本屏風の存在は、研究者の間で知られていましたが、これまで公開されたことはほとんどありませんでした。中国地方の展示会では、今回が初めての公開となります。この貴重な機会にぜひご覧ください。

展示の紹介は次のページへ ▶▶

寛永3年(1626)9月6日、後水尾天皇は、大御所徳川秀忠と三代将軍家光の招きで京都の二条城に行幸しました。後水尾天皇の中宮和子は、徳川秀忠の五女に当たります。二条城では、同月10日まで続いた滞在中に舞楽や和歌会、猿楽などの様々な催しが盛大に執り行われました。

「洛中洛外図屏風」(本田家旧蔵本)は、この行幸の行列を右隻の内裏から左隻の二条城まで、両隻にわたり活き活きと描く点が特徴とされています。

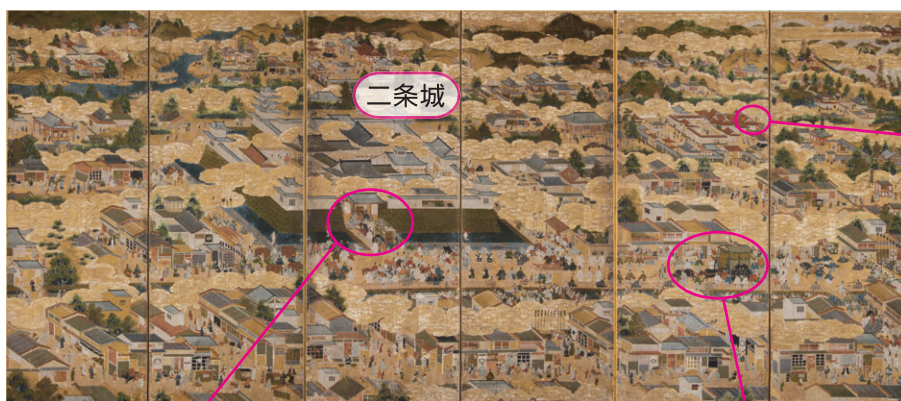


天皇の鳳輦

行列の先頭が続々と二条城に到着する一方、天皇の乗る鳳輦はまだ内裏の中に留まっています。このことから、行幸行列がいかに盛大であったかがうかがえます。



洛中洛外図屏風(右隻、本田家旧蔵本)



洛中洛外図屏風(左隻、本田家旧蔵本)

ここがポイント!



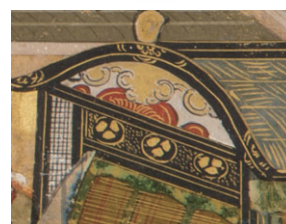
画面を覆う金雲(源氏雲)の内側には、胡粉で盛り上げた3列の丸粒が装飾されており、これが林原美術館本の制作工房の特徴の一つとされています。



二条城に入る牛車



将軍の牛車



三つ葉葵紋

将軍が乗る牛車は、特別に2頭の牛が引いています。

守屋壽コレクション初公開記念

洛中洛外図屏風と 古地図でたどる日本の歴史

- 開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※初日の入館は午前10時から
- 休館日 / 月曜日(ただし、5月5日は開館)、5月7日(水)
- 入館料 / 一般 290円(220円)、大学生 210円(160円)、高校生以下及び65歳以上無料
※()は団体料金(20名以上)

頼山陽史跡資料館 展示の御案内

特別展 令和7年 3月14日(金)～ 3月30日(日)

全国公募 南画精華展



南画は、中国絵画の大きな流れの一つである南宗画(文人と呼ばれる非職業画家が担い手)が日本に伝わり、独自の発展を遂げる中で確立した絵画様式です。

書画同源とし、詩書画三絶(詩・書・画ともに優れること)を理想とする南画においては、気韻生動(生氣が満ちあふれていること)と風雅味が重んじられ、教養に裏打ちされた描き手の知性と品性が問われます。西洋化が進められた近代以降、文人趣味や漢詩文の素養は次第に失われていき、南画の表現は多様化していきましたが、今なお伝統的な表現様式を受け継いだ創作活動も行われています。

この「南画精華展」は、世俗を超越しようとする南画の伝統的様式美に根ざした作品を公募し、公開することで、改めて頼山陽や田能村竹田が理想とした風雅の精神とは何かを問いかけようと立ち上げた企画です。

本展では、入賞・入選作品とともに、審査員出品作品や参考作品(近代南画)も合わせて展示します。ぜひご覧ください。

一等 広島県知事賞 蘭竹二君図 立花佳子(神奈川県)

今回は、蘭と竹の白描に挑戦したのですが、線に命を込めて描くことは本当に難しかったです。

ただその練習は、四君子を定め、美しさや精神性を称えた宋の人々に思いを馳せるまたとない機会となりました。

千年を経て、ここ日本の地で、なお深く共感できることの不思議さ、これを文化の継承というのかもしれませんが、東アジア文化圏に生まれたことの幸せを改めて感じました。

- 会 場 / 頼山陽史跡資料館(広島市中区袋町5-15)
TEL:082-298-5051
- 開館時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 月曜日
- 入館料 / 一般300円(240円)、65歳以上240円、小中高生150円(120円)
※()は団体料金(15名以上)



▲頼山陽史跡資料館
ホームページ

博物館 掲 示 板

令和7年度の展示会のお知らせ

守屋壽コレクション初公開記念

「洛中洛外図屏風と 古地図でたどる日本の歴史」

関連行事

① 開催記念講演会 ※時間はいずれも午後2時～午後3時30分

開催日	演 題	講 師
4月26日(土)	1804年將軍宛贈答品の行方 ーレザノフ関連資料貼交屏風の「黄金の象の時計」についてー	東京大学名誉教授 保 谷 徹 氏
5月10日(土)	洛中洛外図屏風(本田家旧蔵本)を読み解く!!	元京都府立京都学・歴史館職員 大 塚 活 美 氏

② 展示解説会 ※時間はいずれも午後1時30分～午後2時30分

4月27日(日)・5月11日(日)

山陽新幹線開通 50 周年記念 夏の企画展

ひろしま鉄道メモリー ー 線路は続くよ いつまでも ー

会期 7月11日(金)～8月31日(日)

明治24年(1891)の山陽鉄道
開通以来、広島県の鉄道は都市
と周辺地域を結ぶ重要な役割を
担ってきました。

秋の展示

会期 9月19日(金)～11月24日(月・休)

歴史から学ぶ防災 ー未来へつなぐ災害の記憶ー

日本列島は、これまで幾度となく大規模な自然災害に見舞われてきました。広島県内でも、平成13年芸予地震、平成26年8月豪雨及び平成30年7月豪雨などの災害が記憶に新しいところです。

今回の展示では、日本列島でこれまで発生した災害の歴史を振り返り、その経験を未来の防災にどのように活かせるかを考えます。

重要文化財「菅茶山関係資料」への追加指定が答申されました！

令和7年3月21日(金)、国の文化審議会は、当館所蔵の黄葉夕陽文庫資料のうち886点を重要文化財「菅茶山関係資料」に追加指定するよう文部科学大臣に答申しました。

今回は、廉塾や茶山所用の印、茶山に贈られた書画、器物など、茶山とその周辺との交流や事績を示し、既存の資料を補完する内容が多く含まれています。

追加指定された資料の一部は、4月18日(金)から始まる近世文化展示室「菅茶山の世界」で公開する予定です。

ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第143号

編集・発行

令和7年3月22日



広島県立歴史博物館
Hiroshima Prefectural Museum of History
ふくやま草戸千軒ミュージアム

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1
TEL 084-931-2513 FAX 084-931-2514
e-mailアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp
ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>
X(エックス) https://twitter.com/hiroshima_prhk



▲ホームページ



▲X(エックス)